



# 天文資料

2020年 2月号

令和元年度 第11号 (2月号)

令和2年1月29日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



## <「冬の大きな三角」と「冬のダイヤモンド」>

記録的な暖冬で1月が終わりました。梅の開花も緋寒桜の開花

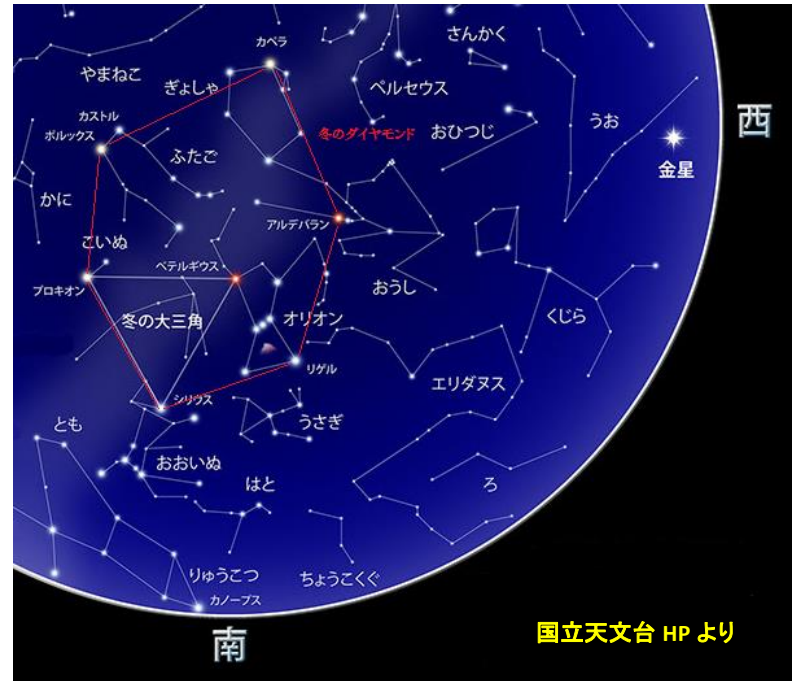
も平年の半月以上早かったことに大変驚いています。

そのような中で2月を迎えます。

2月の星空は、南の空に「冬の大きな三角(オリオン座ベテルギウス、

おおいて座シリウス、こいて座プロキオン)」を中心に、華やかな星々が並んでいます。

ここでは、「冬の大きな三角」を手掛かりに、もっと大きな六角形「冬のダイヤモンド」を見つけてみましょう。



まず、オリオン座ベテルギウスを六角形の中心の星とみます。そして、シリウス、プロキオンと目を移して、天頂を見上げます。すると、そこにやや赤みを帯びた一等星があります。これがふたご座のポルックスです。ここからさらに北西に目を移すと、ぎよしゃ座カペラが輝いています。次に西に目を移すと、また赤い一等星が。これがおうし座アルデバランです。そしてオリオン座リゲルと結びと、六つの一等星を頂点とした大きな六角形ができあがります。これが「冬のダイヤモンド」です。

晴れた日の夜、実際にさがしてみてください。とても大きなダイヤモンドであることがわかりますよ。

「宵の明星(金星)」も見頃です。5月中旬まで夕空で輝いています。

## <「老けた銀河」の探査で135億年前の星形成の痕跡を発見>

東京大学、早稲田大学などの研究チームは、ろくぶんぎ座近くの「COSMOS」と呼ばれる天域において、スピッツァー宇宙望遠鏡による

近赤外線だけで見えて、すばる望遠鏡(可視光)やアルマ望遠鏡(電波)

では見えない銀河を発見しました。この銀河は、ビッグバン後10億年の

比較的初期の宇宙に存在したにもかかわらず、年老いた恒星からなる

「老けた銀河」の特徴を持っていることがわかりました。

この「老けた銀河」を形づくる星たちは宇宙年齢がわずか3億年の

時代に生まれたと推測され、間接的ながらも、宇宙初期の星形成の様子

を初めてとらえた成果となります。(2019.9.9 すばる望遠鏡記事より)

